

「相互塾」の歴史

- 2000.3.28 公開講座「相互塾」としてスタート、「映像の影響力について」(森下政信)
おしゃべりサロン「相互塾」と改称
- 2000.9.25 平和をテーマに「私の戦争体験」(岩崎清吾氏他調布市戦時記録保存会の皆さん)
- 2001.2.26 『調布不思議発見』: 第1回写真作品総合合評会を 総合福祉センターにて開催
(このための写真撮影行を 2000.11.19 と 2001.1.14 の2回開催)
- 2001.8.25 「僕の調布にも空襲があった」(古橋研一氏): 北部公民館と共催
- 2002.7.13 『午後のティーサロン』: 国領「しゃろ~む」にてスタート、「オードリー・ヘップバーン」
- 2002.8.25 「水耕栽培のルーツは調布にあった」(山屋光子氏他2名): 調布市と共催
- 2002.8.31-9.2 『調布不思議発見』: 第2回写真展を たづくり11階 みんなの広場にて開催
(このための写真撮影行を 2002.8.17 の1回開催)
- 2003.2.21 『うたごえサロン』: 国領「しゃろ~む」にてスタート
- 2003.6.30 第41回にて参加者数(累計)が、1000人を超える。サロネットワーク元年と宣言
- 2003.8.24 「日米友情の人形交流」(武田英子氏): 調布市と共催
- 2003.11.30 『うたごえサロン』: 会場を「文化会館たづくり」に移る
- 2004.1.11 『数学おあそびサロン』: 宮の下図書館集会室にてスタート
- 2004.3.12 『うたごえサロン』: 好評で月1回から月2回に増える
- 2004.7.11 『午後のティーサロン』: 会場を「総合福祉センター視聴覚室」に移る
- 2004.8.7-8 「市民が語る私に戦争体験~シベリア、ジャワ島抑留体験」(体験者4名): 調布市と共催
- 2004.10.1 『うたごえサロン』: 「相互塾」より独立(リーダー: 能勢由緋子氏)
- 2005.5.10 『調布不思議発見』: 国領「あくろす」2階にて公開展示(準常設)
- 2005.7.24 『数学おあそびサロン』: 会場を「調布市青少年交流館」に移る
- 2005.8.7 「市民が語る私の戦争体験~特攻隊の一員となって」(体験者2名): 調布市と共催
- 2006.1.11-12 『数学おあそびサロン』: 6中、8中の補習講習にそれぞれ週1回参加
- 2006.4.9 『午後のティーサロン』: 開催頻度を3カ月に1回から隔月毎に変更
- 2006.5.20 第76回にて参加者数(累計)が、2000人を超える
- 2006.8.5 「市民が語る私の戦争体験~辛酸をなめた戦後引揚者の体験」(体験者2名): 調布市と共催
- 2006.10.30 特集「教育を考える」にて「子どものかかえる問題」(村上剛明氏): 市教育委員会の後援
- 2007.8.4 「市民が語る私の戦争体験~九死に一生を得た大空襲」(体験者4名): 調布市と共催
- 2007.10.15 『数援隊(数学支援隊)』: 調布市の協力で結成、中学の数学授業への支援活動開始
- 2007.10.20 特集「教育を考える」にて「理科離れと教育」(畑中喜秋氏): 市教育委員会の後援
- 2008.5.24 「100回記念のつどい」: 100回までの講師を招待し開催。講演とピアノ演奏と懇親交流会
: 調布市と共催。(今後の運営形式の基本を示すものとして開催)
- 2008.6.29 開催日を休日午後に変更し、ピアノ演奏も定番とし、フリートークも少人数円卓形式に
- 2008.8.9 「市民が語る戦争体験~中国帰国者のまだ終わらない戦後」: 調布市共催
- 2008.8 『午後のティーサロン』が調布まちづくりの会の部会として独立
- 2009.2.28 第109回にて参加者数(累計)が、3000人を超える
- 2009.8.8 「市民が語る私の戦場体験: 悪夢の戦地」(体験者4名): 調布市共催
- 2010.3.28 「相互塾」は10周年記念パーティーと同時に最終回を迎え、以降休会に入る

【注】: 『 』のない項目は「相互塾」自身のイベントです。